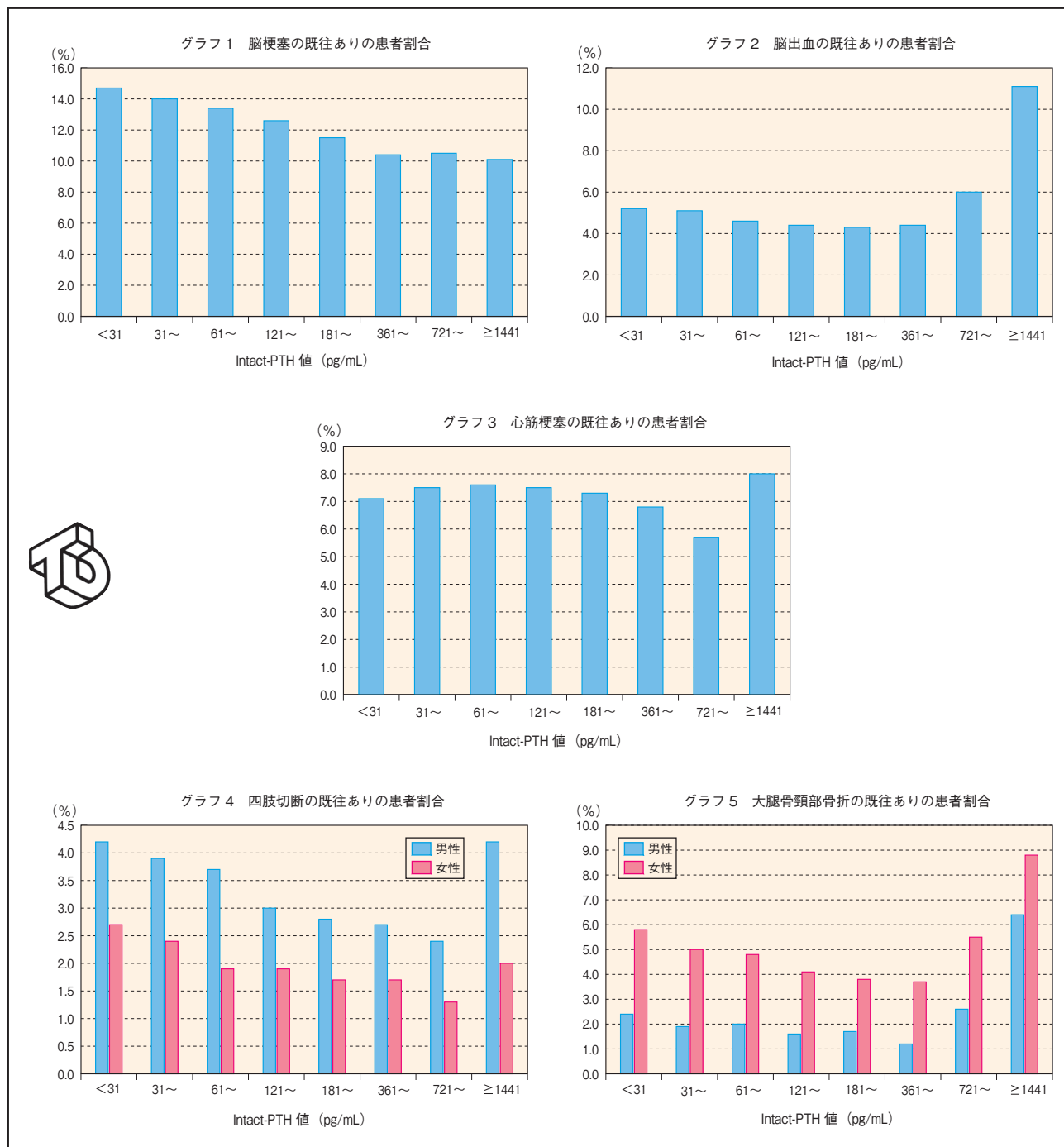


3) CKD-MBD 関連

(13) 脳梗塞, 脳出血, 心筋梗塞, 四肢切断および大腿骨頸部骨折の既往の患者割合 (intact-PTH値別) (図表49)



患者調査による集計

グラフ1 集計対象：177,533人
 グラフ2 集計対象：177,777人
 グラフ3 集計対象：178,079人
 グラフ4 集計対象：男性110,601人、女性68,203人
 グラフ5 集計対象：男性109,799人、女性67,749人

解説

透析前intact-PTH値と、脳梗塞、脳出血および心筋梗塞、ならびに四肢切断と大腿骨頸部骨折の既往との関連性を提示した。intact-PTH値が高い程、脳梗塞の既往率は低い。一方、intact-PTHが721pg/mL以上では脳出血の既往率は高い。心筋梗塞の既往とintact-PTHの間には関連は認めなかった。四肢切断と大腿骨頸部骨折の既往率は、intact-PTH値の低下に伴い上昇する傾向であったが、intact-PTH値が1441pg/mL以上では四肢切断と大腿骨頸部骨折の既往率が明らかに高かった。